

シーズ名	食品成分による抗メタボリックシンドローム、アンチエイジング	分類 13
所属 / 職 / 氏名	応用生物化学課程/教授/長澤孝志	
キーワード	ポリフェノール、アミノ酸、糖尿病、生活習慣病、アンチエイジング	

どんな技術？

一言アピール

高齢化社会では病気にならない動ける体作りが大切。そのためにメタボリックシンドローム阻止や筋萎縮の抑制する食品素材、特にポリフェノールやアミノ酸について研究しています。

【研究成果の内容】

高齢化社会を元気に過ごすためには、メタボリックシンドロームにならない、動ける体が大切です。私たちはソバのルチン、ヤマブドウのプロシアニジン、アントシアニンなどのポリフェノールに糖尿病の合併症の原因となる非酵素的糖化反応（グリケーション）を抑制する作用や、脂質代謝を改善する作用などがあることを見いだしました。ヤマブドウからはポリフェノールを多く含む粉末を試作し、実用化に向け検討を進めています。

動ける体には動ける筋肉量が重要です。ある種のアミノ酸の摂取が骨格筋の萎縮を抑制できることを萎縮モデル動物を用いて明らかにしました。これは、高齢者や疾病時のサプリメントとしての応用が期待されています。



ヤマブドウ



ヤマブドウポリフェノール粉末

何に使えるの？

サプリメント、健康食品

関連特許	特開2007-131599
関連資料等	あり